

「オンリーワンの島づくり」を実現するため6つの戦略プロジェクトを推進して参ります。

# 1 要策主施

## 「オンリーワンの島づくり」戦略プロジェクトについて

島を支える

### 頭脳集団づくりプラン

- (1) 第5次総合振興計画策定に向けての島内外の関係団体等との意見交換の実施
- (2) 情報化推進、環境保全・再生、特産品開発、方言・文化、心の健康推進、まちづくり塾等のまちづくり委員会の活動支援
- (3) まちづくり全般についての鹿児島大学と論活性化センター等の学術機関や地元NPO法人との連携
- (4) NPO法人の育成
- (5) 各種情報収集による新規事業の積極的な開拓等

### 生きた博物館構築プラン

- (1) ツアーガイド育成事業の成果を活かした、与論の自然、伝統文化等の案内のできるインストラクターの養成
- (2) 本町公式ホームページやヨロン観光まちづくり支援サービスクラス事業で整備したポータルサイトと町内各種団体ホームページとの連携による情報発信

信の強化

- (3) 各種補助事業の導入による「シゴエのナカダナ」等本町の旧跡名所の調査

### ヨロンブランド創造プラン

- (1) 特産品開発人材育成事業の成果を活かした起業家の育成
- (2) 各種助成制度やアドバイザー制度の積極的な活用
- (3) 光ファイバサービスの活用した特産品の宣伝販売
- (4) 与論町総合農村活性化センターの積極的な活用
- (5) 有機農法の研究

### 『情報の島』づくりプラン

- (1) SOHO企業化人材育成事業の成果を活かした起業家の育成
- (2) 光ファイバサービスを活用したソフト産業等の誘致
- (3) 情報教育の実施

### ゆんぬふれあい交流プラン

- (1) 観光産業振興に伴う人材育成支援事業の成果やタラソテラピーインストラクター人材育成事業等の

成果と連携した観光産業に携わる人材の育成

- (2) 与論町グリーン・ツーリズム推進協議会との連携による体験型観光の推進
- (3) ニューヨロンピア計画で提言された交流プランの推進と、NPO法人ふるさと回帰支援センター等の関係団体との連携の推進

### 『環境の島』づくりプラン

- (1) 町環境総合計画の着実な推進
- (2) 大学、各種研究機関及び地元団体等との連携によるヨロンの海再生協議会（仮称）の設置
- (3) 町内各種団体等と連携した環境学習の推進
- (4) 省エネ意識の啓発のためノーマイカーデーの継続実施

# 2 要策主施

## 「オンリーワンの島づくり」について

教育文化

教育行政については、本

県教育行政の基本目標である「あしたをひらく心豊かな人づくり」及び本町の基本理念である「人と自然が輝くオンリーワンの島づくり」を進めるため、「誠の島」と謳われてきたこの島の良

がスタートし、長年の念願であった幼保一元化が実現する運びとなりました。これで、0歳児から就学前までの一貫した幼児教育が可能となり、文字通り本町が目指してきた0歳児からの18歳までの、「幼小中高一貫教育」の更なる充実が、期待できるようになりました。

い伝統と、「東洋の海に浮かび輝く一個の真珠」と称えられる美しい風土の中で、生涯学習の観点に立ち、進んで意見を述べ、事をねばり強く遂行するなどの「誠」の持つ積極性と、主体性・創造性・国際性を備え、人間性豊かでたくましく生きる誠実な町民の育成に努め、後世に誇れる「教育観光の島」の実現を目指して、学校教育・家庭教育・社会教育の各部門で、それぞれ次のような教育行政を進めて参ります。

### 1 学校教育に関して

いよいよ新年度から「与論こども園」・「那間こども園」に加え「茶花こども園」

- (1) まず、子ども園においては、0歳児からの読み聞かせに加えて、4〜5歳児に対する古典等の暗唱指導により本好きの子に育て、小学校入学までにどの子も、絵本がすらすら読めるようにする。
- (2) 小学校においては、読み書き算に加えて、各教科の基礎・基本を繰り返し定着させて進級・卒業させる。
- (3) 中学校においては、中学生としての基礎・基本の定着に加えて、小学校時代から育ててきた将来の夢を更に練り上げ、明確な目的意識をもって高校